

【事例63】「草刈り機（刈払機）の事故に注意を！」

【事例】家の近くで草刈り機を使用中、落ちていた2cm弱の針金が刃に巻き込まれ、勢いよく飛び出して左胸に突き刺さった。筋肉を突き破り、心膜に達していたため、内視鏡による針金の除去手術を行った。

（相談者：30歳代、男性）

【対処法】① 作業をする前には、作業する場所の地面に落ちている空き缶・小石・針金・木の枝など、巻き込まれて飛びそうな危険なものを除去してから作業を始めましょう。② 作業の時には必ず、ヘルメットや防護服・ゴーグルなどの保護メガネ・防振手袋を身につけましょう。

「暑いから」とか「短時間で済むから」といって装着しないで作業すると、思わぬ大事故につながります。③ 刈刃に詰まった異物を取り除く場合は、必ずスイッチを切り、完全に機械が停止したことを確認してから取り除いてください。④ 近くに人がいる場所で作業しなければならない場合は、15m以内に近づかないよう注意喚起してください。

※何か問題が起こったら、企画課の消費相談窓口で相談しましょう。